

論点ペーパー

- 1 利活用モデルの模索やそのための制度的課題の整理
 - 教育、観光以外のビジネス利用、地域活性化を促す事例などはあるか。
 - 情報技術の進展により、デジタルアーカイブの利活用の形はどのように変化すると考えられるか。
 - 今後、重点的に検討すべき施策や新たな活用を促進する施策としてどのようなものが考えられるか。
- 2 メタデータ等のオープン化の実施、コンテンツの二次利用条件表示の促進策の検討（望ましい権利表記の共有等）
 - 各アーカイブ機関によるメタデータ・サムネイル・デジタルコンテンツの発信をより進めるためには、こういった取組が必要か。
 - 特に、メタデータ・サムネイルについて、自由な二次利用を可能とするオープン化の促進策として、有効な手段は何か。
 - 今後、重点的に検討すべき施策や新たな活用を促進する施策としてどのようなものが考えられるか。
- 3 新技術を活用したデジタルアーカイブの構築の在り方の検討
 - コンテンツ整備において、最近の技術を活用することでコンテンツの充実を図ることは考えられるか（ニューラルネットワークによる写真の着色や AR によるデジタルアーカイブと現実とのリンク、VR や 3D プリンターへの出力可能なデータ整備など）。
 - 市民参加によりデジタルアーカイブの構築を促進することは考えられるか（オープンソースコードの活用など）。
 - データ整備において、AI やクラウドなど、最近の技術を活用することによりデジタルアーカイブの運用を効率化した事例などはあるか。
 - 今後、取り上げるべき新技術はあるか。
- 4 長期利用保証の在り方の検討
 - 中小規模や地方の各アーカイブ機関におけるデジタルアーカイブが持続可能性を確保するためには、どのような取り組みが必要か。
 - 運用継続が困難となったデジタルアーカイブのデータを保全するためには、どのような取組が必要か（権利処理の円滑化など）。
- 5 ジャパンサーチ上での各分野・地域におけるつなぎ役の役割や分担の明確化、つなぎ役に対する国の支援策の検討
 - メタデータを集約する役割を果たすつなぎ役が明確でない分野・地域について、その役割を果たす組織をどのように発掘していけばよいか。
 - つなぎ役の基準の検討（大学の学部共通 DB 等、一定程度のまとまりのあ

る DB をつなぎ役として認めてもよいのではないかなど)。

- 各アーカイブ機関がメタデータ・サムネイル・デジタルコンテンツを拡充するためには、どのような支援が必要か (QR コード決済などの技術を利用した少額寄付システムの検討など)。
- 各省庁の委託事業において作成したデジタルコンテンツについて、アーカイブ化される仕組みを構築できないか (どのような委託事業があるのか、提供先アーカイブ機関はどこか、持続的なデジタルアーカイブに構築されるような仕組みを作っていくことの必要性など)。

6 ジャパンサーチの運用体制の在り方の検討

- ジャパンサーチの正式版公開に向けて、今後、どのような運用体制を整備していくことが必要か (運営主体、開発体制、実務者検討委員会における協力体制など)。

7 デジタルアーカイブアセスメントツールを使った評価方法の整理

- デジタルアーカイブアセスメントツールを使った事例報告 (本委員会構成員にお願いできないか)。
- デジタルアーカイブの構築・発信を促すインセンティブとして、どのような枠組みに基づき、どのような観点から評価していくことが望ましいか。

8 デジタルアーカイブの広報・ノウハウの共有の在り方の検討

- ノウハウの整理・共有を行うことにより、中小規模や地方の各アーカイブ機関の技術を底上げして、つなぎ役の負担を軽くすることは考えられないか。
- 前身のデジタルアーカイブに関する関係省庁等連絡会及び実務者協議会の頃からの蓄積した情報をどこかのページでまとまった形で発信していくことは考えられないか。

9 総論

- デジタルアーカイブの「エコシステム」を回していくためには、どのような手段・手法が考えられるか。

以 上